

令和5年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 佐 藤 宏 悦

そ う せ い 齊 藤 勝

秋 水 会 小 野 寺 誠

秋 水 会 赤 坂 光 一



1 不安定な国際情勢に対する秋田市の対応について

- (1) 市民の命を守る市長として、平和の維持についてどのように考えているのか
- (2) 万が一の有事の際の準備やマニュアルの作成等、危機管理態勢は整っているのか、また、市民に対して対応方法等の周知、避難訓練等を行ってはどうか
- (3) 有事の際の避難場所として、地下道などの活用を検討してはどうか
- (4) 昨今の国際情勢や有事への対応について、子供たちにどのように伝えているのか

2 防災について

- (1) 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域及びその付近の住民等に対して、定期的な注意喚起や対応マニュアルなどの作成・周知は行っているのか
- (2) 当該区域の定期的な観察、調査などはどのように行っているのか、また、その結果の分析や周知はどのように行っているのか
- (3) 当該区域の住民などからの避難方法等に関する相談等について、どのような対応をしているのか、また、相談の中で長期的な課題となったものについては、今後、その解決に向けてどのように取り組んでいくのか
- (4) 各地域の自主防災組織の活動状況は、社会活動が停滞していたここ数年と比較してどのように変化したのか

3 洋上風力発電について

- (1) 秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における協議会での協議内容はどうか、また、同協議会は、今後どのように活動していくのか
- (2) 令和5年度から産業振興部に設置予定の（仮称）新エネルギー産業推進室は、どのような業務を担当するのか、また、官民を挙げた再生

可能エネルギーの活用によるまちづくりの機運を具体的にどのように高めていくのか

(3) 同推進室に、外部から専門性を有する人材を採用するなどの計画はあるのか

(4) 洋上風力発電事業に進出する企業等に対して、支援を行う予定はあるのか

(5) 洋上風力発電事業から生まれる経済波及効果や今後のエネルギー資源の在り方などの将来展望について、市民にどう周知し、共有していくのか

#### 4 農業について

(1) 県で進められているあきた型ほ場整備での高収益作物栽培について、これまで経験のない人でもスムーズに始められるよう、市として指導や助言、研修の機会などを設けるべきではないか

(2) 農業の繁忙期における人手確保策として、農福連携や外国人技能実習生の積極的な受入れ、援農ボランティアなどが活用されているが、それらの現状と課題についてどのように認識しているのか

(3) 農業法人化が進む中、農業に従事する人材育成のため、農業経営やスマート農業などに特化した新たな組織をつくり、新規就農者の育成だけでなく、より高度な専門分野に精通した人材づくりを目指した育成機関を設置してはどうか

(4) 小規模な農家でも継続して従事できるよう、ダリア、菊、イチゴなどの作物を家庭菜園規模で単体栽培することに特化した研修を企画してはどうか

(5) 県で推進されている「サキホコレ」のブランド化について、秋田市産として積極的に売り出すなど、本市も独自に取り組むべきではないか

(6) 農業経営収入保険加入促進事業について、令和5年度以降も実施してはどうか

(7) 本市の6次産業化とアグリビジネスの推進について、これまでの成

果と課題はどうか、また、今後の展望をどのように考えているのか

## 5 林業について

- (1) 本市における総森林面積、間伐面積及び森林産業の関連人口はどのくらいか、また、本市における林業の現状の認識と将来展望について、どのように考えているのか
- (2) 本市における林業の担い手確保や人材育成などに関する現状及び課題は何か
- (3) 森林環境譲与税の活用状況はどうか、また、その課題等についてどのように捉えているのか
- (4) オフセット・クレジット制度の活用状況はどうか、また、同制度の企業側及び行政側それぞれのメリットとデメリットをどのように評価し、今後どのように進めていこうとしているのか

## 6 通学路について

- (1) 危険箇所の把握や調査、見直しなどは随時行っているのか
- (2) 歩道がない通学路の除排雪はどのように行っているのか
- (3) 通学路に一時的に積まれた、排雪前の雪山の実態と課題について、どのように捉えているのか

## 7 市民による除排雪について

- (1) 道路除排雪業者が行う除排雪作業に対して、市民が評価する仕組みをつくるべきではないか
- (2) 生活道路等については、地元住民が協力して除雪を行うべきであることを市民に改めて周知すべきではないか
- (3) 年1回の市民一斉除雪デーを、積雪状況に応じてもう一度実施する機会を設けてはどうか

## 8 あきた芸術劇場ミルハス等について

- (1) ホールの収容人数に対して、附属駐車場及び周辺の駐車場の収容台

数で十分賄えると想定していたのか、また、来場者の交通手段等に関する現状と課題について、どのように捉えているのか

(2) 公演の際、介助が必要な方への適切な案内や、混雑時に来場者がスムーズに入退場できるような誘導は行われているのか、また、来場者からの要望等に対して、適切な対応は行われているのか

(3) 非常時における来場者の誘導や避難経路の説明など、対応マニュアルは適切に作成されているのか、また、地震や火災等の発生を想定した避難訓練などは行われているのか

(4) 問題点の抽出、課題解決などの対応は、県とどのように連携して行われているのか

(5) 秋田市中心市街地活性化プランや芸術文化ゾーンに位置づけられたミルハス周辺のさらなる充実には、駐車場、飲食店などのにぎわいに欠かせない施設の充実が必要と考えるが、本市としてどのように考えているのか

1 秋田市の発展を願って

(1) 少子化対策について

ア 本市の少子化の要因をどのように分析しているのか、また、若い世代の結婚・出産に向けた意欲を高める取組が重要であると考えますが、今後、どのように取り組んでいくのか

イ 若い世代の雇用環境の改善について、本市としてどのように取り組んでいくのか

(2) 本市の魅力発信について

ア これまでの取組から本市の魅力をどのように分析しているのか、また、民間の取組も本市の魅力として積極的に情報発信すべきと考えるがどうか

イ 全国放送のテレビ番組等において本市が取り上げられた際に、機を逃さず本市の観光資源としてPRするため、秋田市公式ユーチューブなどで閲覧できるようにしてはどうか、また、全国放送のテレビ番組で取り上げられた八橋油田を本市の観光コースの一つに含めることを検討してはどうか

ウ ふるさと納税寄附金額と市民の他自治体への寄附に伴う税額控除金額の現状はどうか、また、同寄附金額について、県内1位を目指す考えはないか

2 外旭川地区の発展を願って

(1) 外旭川地区のまちづくりについて

ア 外旭川地区のまちづくりについて、モデル地区とはいえ、同地区の住民に説明が全くなされていないことについて、どのように考えているのか、また、同地区住民に対する説明会及び意見聴取の場を市主体で設けるべきと考えるがどうか

イ 同地区まちづくり事業は、地区住民の生活にどのような影響を与えると考えているのか

ウ 同地区まちづくり事業パートナー選定プロポーザルの際に、他者の提案と比べてイオンタウン株式会社の提案の何を評価して、同社の提案に決定したのか、また、その評価した内容は実現できるのか  
エ プロポーザル時の提案内容から大きく変更されているが、事業パートナーが同事業から撤退することはないのか、また、事業パートナーが撤退した場合においても、同地区のまちづくりを進める考えはあるのか

オ 1月11日定例記者会見時の「このまちづくりを進めるか否かが、次の市長選の大きなテーマになるだろう」との報道における市長発言の真意は何か

(2) より住みやすい外旭川を目指して

ア 公共交通について

(ア) 外旭川地区から北部地域の拠点である北部市民サービスセンターまで直通のバス路線が必要と考えるが、市の考えはどうか

イ 行政サービスについて

(ア) 戸籍や住民票に関する手続などの機能を含めて、外旭川地区コミュニティセンターを北部市民サービスセンターの別館とする考えはないか



## 1 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) モデル地区においては、先端技術を活用し、幅広い分野の取組を一体的に展開することにより、他地域の課題解決と発展につなげることであるが、他地域にはどのような課題があるのか、また、モデル地区における取組によって、どのような成果が得られ、ひいては、他地域の課題解決にどのようにつながると考えているのか
- (2) 卸売市場の再整備について、市場内事業者との協議により、現敷地内でのローリング方式による建て替えを行う方針とし、約10年後の整備完了を想定しているが、今後も労務費や原材料費の高騰が予想されることから、一括建て替えする方式に変更し、工期を短縮する考えはないか
- (3) モデル地区の整備は、今後の本市全体のまちづくりへの影響が大きいことから、事業内容に関し、住民理解も必要であると考えているが、どの段階で住民説明を行うのか
- (4) モデル地区整備には約10年を要するため、市長の現任期では整備が完了しない状況となるが、この構想は、市長の政治生命をかけた公約であり、外旭川地区のまちづくりが完遂するまで、この先2期8年、市長としてリーダーシップを発揮し続ける覚悟と事業成功への強い思いはあるのか

## 2 スポーツ施設の整備について

## (1) 秋田市立体育館について

ア 同体育館は、これまで雨漏りなどの修繕に多額の経費を要してきたが、今後の修繕や改修についてどのように考えているのか、また、県は県立体育館の整備を進めているが、これを契機に市も市立体育館を新設する考えはないか

## (2) 勝平市民グラウンドについて

ア 同グラウンドのトイレや用具庫の老朽化が著しいことから、多く

のスポーツ団体から新たな整備を求める声が届いているが、今後、市としてどのように対応していくのか

### 3 少子化対策について

(1) これまでの本市独自の少子化対策の成果と課題は何か、また、本市独自の結婚支援への新たな取組について、どのような検討をしているのか

(2) 少子化対策は複数の部局が関連していることから、少子化対策に特化した独自の組織を新たに設置してはどうか

### 4 学校適正配置に伴う廃校舎等の利活用と地域の活性化について

(1) 雨漏りなどで利活用されていない旧山谷小学校の校舎棟について、どのように考えているのか

(2) 太平小・中学校統廃合後の校舎等の利活用について

ア 廃校後の校舎、体育館及びグラウンドの利活用について、どのように考えているのか

イ 学校と地域のつながりを記録している歴史資料や地域の文化的財産などの保存場所の確保が必要と考えるがどうか

(3) 太平小・中学校廃校後における地域の活性化に向けて、どのように考えているのか

### 5 イノシシなどの鳥獣被害対策について

(1) 本市でもイノシシの出没が確認されている以上、人身被害の発生や農作物被害が拡大する前に何らかの対策を講じるべきと考えるがどうか

(2) 農作物被害が発生すると、農家では電気柵や金網設置などの対策が必要となることから、補助金などの支援について、早めに検討してはどうか

### 6 七曲臨空港工業団地への企業立地促進について

(1) 立地企業の増加と働く場、雇用の場を増やすため、事業主体である県に対し、広大な分譲可能面積のある七曲臨空港工業団地の分譲対象項目・貸付条件の緩和及び分譲区画の分割などについて働きかけてはどうか



1 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略等について

- (1) 第2期同総合戦略における基本目標ごとの数値目標とK P I（重要業績評価指標）の達成状況について、第1期同総合戦略策定時より悪化した項目があるが、第1期同総合戦略の成果と課題をどう分析し、第2期同総合戦略の各数値目標、具体的施策及びK P Iを設定したのか、また、数値目標とK P Iを全て達成できる見込みはあるのか
- (2) 第2期同総合戦略を推進するためには、財政運営、組織体制のさらなる改善が必要と考えるが、第8次秋田市行政改革大綱実施計画にどう組み込まれるのか

2 県と連携した人口減少対策について

- (1) 人口減少対策を効率的かつ効果的に進めるためには、県と定期的な情報共有を行うなど、県と連携した取組が重要と考えるが、現状の進捗及び課題と今後の展開はどうか

3 人口の社会減対策について

- (1) 人口減少対策における県都としての役割をどう捉えてこれまで取組を進めてきたのか
- (2) 移住・定住について
  - ア これまでの移住・定住施策の成果と課題をどう捉えているのか、また、今後はどう取り組んでいくのか
  - イ 県と連携した同施策の現状はどうか、また、メタバースの活用など、今後の展開はどうか
  - ウ 地域おこし協力隊の移住・定住への取組に対する成果をどう捉えているのか、また、隊員同士の活動を連携することでさらなる成果を得られると考えるがどうか

4 少子化対策について

(1) 本市の出生数を向上させるためには、どのような取組が有効と考えているのか

(2) 仕事と子育ての両立への支援について

ア 育児休業を取得しやすい環境づくりに本市としてどう取り組んでいくのか

イ 育児休業取得後のキャリアへの影響を不安視して、子育てへのモチベーションが低下している現状があると思うが、どう認識しているのか、また、そのような不安を解消するための対策を講じるべきと考えるがどうか

ウ 乳幼児を育てる家庭の家事・育児負担の軽減や社会からの孤立化を防止するため、「(仮称)おうち家事・育児サポート事業」を実施してはどうか

5 秋田市総合都市計画等について

(1) 実効性のある計画とするため、策定後の計画を地域住民に分かりやすく伝えるべきと考えるがどうか、また、次期計画を策定する際には、計画策定段階から地域住民の意見を取り入れるための手法を検討してはどうか

(2) 同計画の地域別構想等の意見交換会を各地区で開催してはどうか、また、意見交換会での住民意見を基に地区ごとの具体的なまちづくり計画を策定してはどうか

6 地域の諸課題について

(1) JR新屋駅等について

ア 鉄道事業者に対して東西自由通路の整備を求めていく考えはないか

イ バリアフリー化の観点から、鉄道事業者に対して構内にエレベーターやエスカレーターの設置を求めていく必要があると考えるがどうか

ウ 同駅を拠点とした地域活性化策として、大森山動物園、新屋ガラ

ス工房、秋田公立美術大学などの地域資源の魅力をPRするため、官民連携による情報発信を行ってはどうか

エ 同駅を利用して大森山動物園に来園する観光客もいることから、土日祝日にシャトルバスの運行を検討してはどうか

(2) 新屋海浜公園について

ア 同公園を風致公園として都市計画決定しているが、今後、どのような方針で整備を進めていくのか

イ 同公園の都市計画決定区域内に設置されている風力発電の風車について、この現状をどう捉えているのか